



香川県教育センター 教育ライブラリーだより

第13号 令和6年4月23日

桜の開花とともに新入生を迎え、いよいよ新学期が始まりました。世界が冬色からカラフルに変わっていくこの季節は、いつも心が躍ります。カラーテレビが初めて家に来た時のように。いつの話？

教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。

この『教育ライブラリーだより』では、できるだけ新しいものを中心に時折旧刊も交えながら、教育図書や雑誌などの紹介をしたいと思います。

教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。基本的に土曜日も利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

書籍紹介

①「マンガで見る 子どもが学校に行きたくないと言ったら読む本」

菅野純／監修

(主婦の友社 2020 年)

「NPO カタリバがみんなと作った 不登校－親子のための教科書」

今村久美／著

(ダイヤモンド社 2023 年)

「学校に行かない君が教えてくれたこと 親子で不登校の鎧を脱ぐまで」

今じんこ／著

(オーバーラップ 2023 年)

4 月は希望にあふれた季節ですが、環境の変化からメンタル不調が増える時期でもあります。子どもたちの心の変化に注意が必要です。全国の小中学校で 2022 年度に不登校だった子どもが 29 万 9048 人（前年度比 22.1%増）で、過去最多であったとのこと。自分の子どもや学級の児童生徒が登校をしぶったり不登校になったりしたとき、どのように考え対応すればいいのでしょうか。内容が具体的でわかりやすいのがこの 3 冊です。

『マンガで見る』では、「登校しぶり」の初期対応や学校との連携の仕方、子どもの心のエネルギーの補充法、そして、どのような言動が心のエネルギーを奪い子どもを追い詰めてしまうのかなどについて、時折マンガを交えながら、分かりやすい言葉で語ってくれます。不登校の子どもを抱える保護者や先生方などの当事者でなくても、普段の子育てや学級指導を振り返るためにも読んでおいた方がいいかもしれません。

『NPO カタリバがみんなと作った』は、不登校支援を続けてきた NPO カタリバが、法人スタッフや専門家、不登校を乗り越えてきた親子などの「知恵と経験を結集してつくった本」です。法人代表理事の著者は、日本を代表する若手社会起業家として米国誌『TIME』でも取り上げられました。本書では「登校しぶり」の初期対応や学校との連携、家庭での諸問題などに加えて、相談機関や支援施設、保護者会との関わり方、現在在籍している学校以外の学びの選択肢などについても具体的に詳しく触れられています。ちなみに NPO カタリバは「room-K」というオンライン上のメタバース居場所空間も運営しています。著者の立場は「現在地」の狭い世界で窒息してしまわないように多様な価値観に触れること、その際「親でも先生でも、同世代の友達でもない、年上だけど利害関係のない『ナナメの関係』の存在」が有効であることの 2 点に集約されるように思います。学校や家庭が本当に多様な個性や成長を認め見守ってくれる場所になっているのか考えさせられる本です。

『学校に行かない君が』は、小学校に入学して早々、長男の不登校に直面した著者が、『不登校』の不安・恐れ・偏見に悩んでテンパりながら、親子の答えに辿り着くまでを、じっくり丁寧にセキララに描いた本で、マンガなので読みやすく実感をもって理解できますが、内容はとても濃いです。副題に「不登校の鎧を脱ぐまで」とありますが、「不登校の鎧」とは何か？『こうあらねばならない』の呪縛」ではないかと感じますが、皆さんはどう読み取りますか？ いろいろな成長の仕方があっていいのでは？という気にさせてくれる本です。ぜひ手に取って読んでみてください。

② 「<叱る依存>がとまらない」

村中直人/著
(紀伊國屋書店 2022 年)

教育という営みの中に「叱る」行為は必要であるとか、「怒る」のではなく「叱る」のだ…という考えに真っ向から立ち向かってくる著書です。

そもそも「叱る」ことには人の学びを促進する力がなく、にもかかわらず「叱る」立場の人間は叱らずにはいられない依存的な状態に陥ってしまいがちという問題提起がされています。どうして「叱る」には効果がないのか、どうすれば「叱る依存」から解放されるのか、臨床心理士である著者が脳科学の視点に心理学の知見を加えて分かりやすく説明しています。また、その考えの延長で、学習者の「主体性」や「自律性」を視点にした学習論が展開されており、今求められている学びの姿が具現化されています。

教育活動に携わる全ての人々にお薦めする一冊です。

③ 「学級経営 10 の原理・100 の原則 ～困難な毎日を乗り切る 110 のメソッド～」

堀裕嗣/著
(学事出版 2012 年)

学級内の係活動や席替えの仕方、清掃指導、学習指導、行事指導、果てはプリントの配り方まで細かく具体的に学級経営について教えてくれる本です。著者によれば現代は「失敗が許されなくなった」時代。ベテラン世代の大量退職により初任者でも即戦力。しかし職場に蓄積されたノウハウは継承されず、生徒や保護者の目は厳しい。だからこそ、学級経営の原理・原則をしっかり意識する必要があるとのこと。著者の考えに共鳴できるかどうかは別として、日々何げなく行っている学級指導について振り返ることができる本です。

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等（抜粋）
国語教育 (明治図書)	4月号	【特集】国語授業開き 完全攻略事典 1冊ですべてがわかる ◇「授業開き前」完全攻略チェックリスト ◇アイデア満載！「国語授業開き」完全攻略事典 教師の語り 音読 クイズ・ゲーム 教科書活用 1時間のシナリオ ◇ポイント網羅！「4月の国語授業デザイン」完全攻略事典 【連載】◇学びが活性化する！今月の「言語活動&話し合い」ガイド ◇言語化する力を哲学する ◇ほんとうは楽しい語彙学習 ◇主体化する国語科授業デザイン ◇生成AIを活用した授業づくり

社会科教育 (明治図書)	4月号	【特集】アイデア満載！社会科「授業開き」1か月の成功シナリオ ◇成功する社会科授業開き 大切にしたい5つのポイント ◇授業開きの「その前」に おさえておきたい授業準備アラカルト ◇4・5月におさえておきたい！学習ルールと定着する伝え方 ◇ポイントナビゲート！「授業開き」1か月の成功シナリオ 【連載】◇最新情報でしっかり解説！歴史教育はどう変わるか ◇「個」の学びを豊かにする！社会科「個別最適な学び」への挑戦 ◇リアルな世界と日本が分かる！地理授業デザイン ◇社会参加から考える公民授業づくり ◇全国の実践家発！現代とつなぐ歴史授業
新しい算数研究 (東洋館出版社)	4月号	【年間共通テーマ】 次期教育課程に向けての展望 ―算数教育の根本を問いなおす― 【特集】現行学習指導要領の成果と課題を整理する 【実践提案】私はこう変えてきた・さらにこう変えていく ◇児童の困り感を共有し、個の学びにつなげる算数指導 ◇算数で社会に通用する力を高める ◇自ら学び続ける子の育成を目指して ◇解決後、新たな問いが生まれる数学的活動を繰り返す授業展開 ◇本質に迫る対話を描く
数学教育 (明治図書)	4月号	【特集】短時間でパッとできる！パズル・ゲームで授業開き！ ◇今年の学びが楽しみになる！数学授業ファースト・メッセージ ◇面積の不思議を傾きで暴け！ ◇ガウス少年のエピソード ◇100万ドルの数字当て ◇計算 数当てマジック ◇「算額」の読み解き ◇順列予測ゲーム 【連載】◇高等学校数学科「探究的な学び」の授業デザイン ◇問題発見する力を育てる数学授業づくり 探究への扉を開こう
理科の教育 (東洋館出版社)	4月号	【特集】中学・高等学校の探究的な学び ―通常の授業に探究の過程を柔軟に取り込む― ◇探究的な学びのある授業とは ◇探究的な学びのある授業実践（中・高） 【連載】◇「先生、これは何という植物ですか？」 ◇生徒をひきつける観察・実験 スマホ顕微鏡でクマムシを観察しよう ◇Let's Try! 理科授業のDX 画像の挿入で振り返りをより豊かに！ ◇先生はサイエンスマジシャン NEXT 色は光の足し算だ
英語教育 (大修館書店)	4月号	【特集1】「英語が苦手」を減らすために ブリッジ指導からスタートする新学期 ◇中学校1年生へのブリッジ指導 ◇小学校での学びを生かした中学校での初期指導 ◇高校新入生対象の英語授業を始めるにあたって 【特集2】英語に自信をつける指導がしたい 【特別記事】PISA2022 から英語教育が考えること 【連載】◇英語教育時評 風の時代と英語教師の心 ◇小学校英語授業のアイデア Box もし世界がこのクラスだったら

		◇A to Z for SDGs 英語教育に SDGs を取り入れる意義 ◇生成 AI 活用術研究所 仕事に AI を活用してみませんか？ ◇大谷選手のユニフォーム：OHTANI と書くのはなぜ ◇Alice in Wonderful Words：『不思議の国のアリス』の英語 ◇洋楽名盤遺産 Woody Guthrie, <i>Dust Bowl Ballads</i>
道徳教育 (明治図書)	4月号	【特集】ゼロからわかる道徳授業開き 完全ガイド&アイデア ◇段階別でゼロからわかる！道徳授業開き 流れと動きが見えるイラストマップ ◇押さえておきたい！ 道徳授業 基本の「き」 ◇授業名人に聞く！ 授業開き・授業づくりのお悩み Q&A ◇授業開きに備える！ 私の“これだけは絶対”準備術 ◇授業の流れ&ポイントがよくわかる！学年別とっておきの道徳授業開き
授業力&学級経営 力 (明治図書)	4月号	【特集】心理的安全性と子ども主体を実現する学級開き 2024 ◇達人教師の学級開き・授業開き三原則 ◇マンガでわかる 子どもをグッと引き込む自己紹介テクニック ◇学級全体が安心して参加できる 学級開きアクティビティ ◇心理的安全性を高める教師の言葉かけ Before & After ◇新任教師が子どもと出会うまでに必ずやっておきたい8つのこと ◇図解 年度はじめ1週間の学級経営
生徒指導 (学事出版)	4月号	【特集】生徒指導と「働き方改革」は両立できる！ ◇生徒指導の充実と働き方改革は両立するか/妹尾昌俊 ◇支える生徒指導は本来の意味での働き方改革を進める 【特別企画】情緒障害児教育における「児童が納得できる」規則の指導 【新連載】◇始めよう！新しい生徒指導 ◇ライブ講義 教育相談最新トピック12 ◇教育経験格差 不登校・定時制の「その後」に待ち受けるもの ◇生徒が考え、判断するための情報モラル教育 ◇高等学校における生徒指導対応回想録 ◇生徒指導の基礎知識小テスト
教職研修 (教育開発研究所)	4月号	【巻頭インタビュー】新しい戦前にしないために、先生だからできること 自由な学校で過ごした黒柳徹子が今思うこと 【特集1】信頼される学校へ ーリスペクトし、リスペクトされる関係をつくるー 【特集2】教員が「今、足りない」を乗り越えるリーダーへ ◇ピンチをチャンスに、今こそ魅力的な学校をつくろう！ ◇欠員発生時の対応 ◇いっさいの垣根をなくすチーム担任制 ◇欠員がわかっていたとき、急な欠員の場合の対応シミュレーション
初等教育資料 (東洋館出版社)	4月号	【特集1】各教科等における指導の充実・改善 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を軸とした指導の充実 【特集2】「特別の教科 道徳」の指導と評価のより一層の充実 【巻頭言・子供と教育】新たな価値の創造/黒田玲子(中部大学教授) 【教育の扉】想定外を想定する/津田雄一(はやぶさ2プロジェクトマネージャー) 【話題】新学期、新年度のスタートに当たって

中等教育資料 (学事出版)	4月号	【特集】問題発見・解決能力を育成する指導の充実 【教育小景】生き様を教えてくれた先生の思い出/武田真一 【特色ある教育活動】東京都・徳島県 【世界を渡って、今】ルワンダの経験と日本の生徒への還元 【StuDX Style への扉】GIGA スクール環境と1人1台端末を活用した「複線型の学び」のすすめ 久喜市立鷺宮中学校 【産業教育のページ】令和6年度予算(案)における産業教育関係経費
実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)	4月号	【特集】まずはここから！読み書き困難の背景理解・アセスメント・支援 ◇「読み書き困難」の原因とアセスメントを生かした個別最適な支援 ◇教室場面において読み書きに困難を抱える子どもの背景を知る ◇発達性読み書き障害（発達性ディスレクシア）とは？ 【連載】◇環境変化が苦手な子への就学・進級・進学支援 ◇あなたに寄り添う伴奏型相談所「子ども目線で教室設計を構想する」 ◇特別支援教育コーディネーターのオシゴトの悩みを解決します！ ◇子どもの「よさ」を生かした自立活動の指導とは？ ◇学校全体で支援しよう！子どものポジティブな行動 スクールワト[®] PBS
特別支援教育研究 (東洋館出版社)	4月号	【特集】子どもの姿・ねがいから始めよう！新年度のスタート 【新連載】特別支援学級の授業づくり UPDATE 【連載】◇格致日新 障害のある子供の自己実現の契機となる教育活動 ◇今こそ知りたい特別支援教育の基礎知識「なるほど！」 ◇やりがいと手ごたえのある学校生活を生み出す「できる状況づくり」 ◇ユニバーサルデザインの視点を活かす！通常の学級における個別最適な学びと協働的な学び ◇通級指導担当者からの発信 自立活動ホップ・ステップ・ジャンプ ◇全国縦断 我が校の実践研究 福岡県立太宰府特別支援学校 ◇情報解説 令和6年度文部科学省特別支援教育関係予算案について
高校教育 (学事出版)	4月号	【巻頭インタビュー】プレゼンは「プレゼント」を贈るように 【特集】高校の校長 ◇いま、高校の校長に何が求められているか ◇学校を経営するとはどういうことか ◇30代を校長として過ごした僕の学校経営論 【第21回学事出版教育文化賞受賞】 教員によるスクールソーシャルワークの可能性 ーニュージーランドのSWiSから学ぶー 【新連載】 ◇Education Transformation(Edx)の最前線 学びに新たな風を：学びを変革する者が見ている新しい景色 ◇探究リポート！ 探究を「再起動」せよ！ ◇最新！大学入試情報 「面倒見の良い大学」とは
高校教育増刊 (学事出版)	4月 増刊	【教師の話し方・例話講座 2024年度版】 ◇行事のポイントと例話 ◇いつでも使える例話 生徒・教職員・保護者に語る例話 ◇特別編 生成AIが執筆!? 保護者に語る例話

学校事務 (学事出版) 4月号	【特集】「心理的安全性」の高い職場・事務室づくり 【特別企画】第21回教育文化賞優秀賞受賞論文 食品ロスの削減をめざす造形活動の展開 【連載】◇事務職員は片づけの発信者 片づく10のポイント ◇子どもの権利が満たされる学校へ トイレのアップデート ◇語ろう！学校財務 校内研修にチャレンジしてみよう ◇令和の学校マネジメント 経営層としての学校事務職員
指導と評価 (日本教育評価研究会) 4月号	【特集】学級開きに向けて ◇担任がすべきこと◇学年主任がすべきこと◇生徒指導・教育相談担当としてすべきこと◇特別支援教育コーディネーターとしてすべきこと◇クラスの子も不登校の子も孤立させない学級経営◇前年度いじめがあったクラスで心がけること◇前年度、学級崩壊したクラスを担当するときにすべきこと◇久しぶりに担任を持つ時にすべきこと 【連載】◇目標・評価を教育に生かす(社会科の評価)◇読解力の育成<小学校>(説明的文章の系統指導)◇算数科で育てる「思考・判断・表現」する力(同じ形を見いだす力を育てる「面積」の指導)◇言語技術としての「事実と意見の区別」(今なぜ「事実と意見の区別」なのか ◇認知的な動詞の意味(「説明する」とはどういうことか)◇心を育てるエクササイズ(「私のお願いを聞いて」アサーティブな自分に気づく)◇漢字を教える・学ぶ(「白川文字学」やゲームを取り入れた漢字指導の工夫)